

プラタなす

No. 16

平成29年1月発行

Japanese Red Cross Nasu Hospital

 日本赤十字社 那須赤十字病院
Japanese Red Cross Society



院長挨拶

新年のごあいさつ

特集チーム医療

認知症ケアチーム

研修医紹介

DMAT活動報告

緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練

マイタウンまつり2016

第2回病院際「マイタウンまつり2016」を開催しました

お知らせ

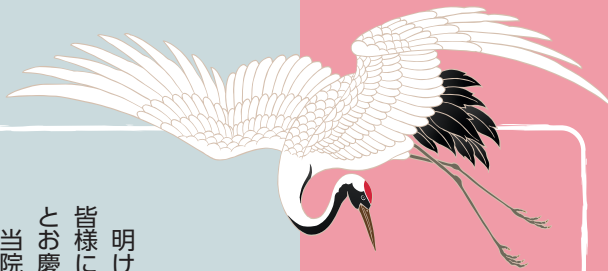
マイタウンまつり2016
救護体験に挑戦



マイタウン・マイホスピタル

～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

院長挨拶



新年のご挨拶

那須赤十字病院 院長 北島 敏光



北島敏光院長

明けましておめでとございます。また、皆様には輝く新年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

当院の前身である大田原赤十字病院は一九四九年七月一日に開院して以来、栃木県県北最大の公的医療機関として、一般診療はもとより高度医療、救急医療、へき地巡回診療、災害救護などに貢献してきました。そして大田原赤十字病院の老朽化に伴い、二〇一二年七月に大田原赤十字病院から一、五キロメートル離れた中田原地区に新病院を建築し、病院名も那須赤十字病院と改め診療を開始しました。新病院となった翌年四月には、栃木県県北では唯一の緩和ケア

昨年を振り返ってみると

昨年を振り返ってみますと、四月一四日に熊本県熊本地方を震源とする最大震度七の大地震が発生しました。百人以上の人々が家屋倒壊や土砂災害などによって犠牲となりました。当院では災害医療コーディネーターチーム三名と救護班九名を被災地に派遣し、日本赤十字の使命である災害救護に当たりました。大変厳しい環境下ではありましたが、全員がミッションを貫徹してくれたことに誇りを感じます。しかし、多くの支援にもかかわらず、いまだに被災地の復旧・復興は進んでないようで、報道等で熊本県の悲惨な姿を見ますと胸が痛みます。被災地の皆様にお見舞いを申し上げますと共に、一刻も早く元の生活に戻れますようお祈りいたします。

病棟二十床をオープンし、現在は地域がん連携拠点病院として専従の医師と看護師が活動しています。

当院の基本理念

当院の基本理念は「マイタウン・マイホスピタル」地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院にあり、赤十字の基本原則に則り、今年も地域の人々に高度で良質な医療の提供に努めます。また、地域のクリニックや病院の先生方と連携を強化して、県北唯一の地域医療支援病院としての役割を果たしていきます。

最後に、今年一年が皆様にとっても、病院にとっても良い年になりますよう祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



特集 チーム医療

チーム医療とは従来、医師が中心となった医療を、職種の異なる医療従事者が、お互いの専門性を発揮し、スムーズに連携していく、患者中心の医療です。医療従事者は、医師・看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・社会福祉士・管理栄養士・検査技師・放射線技師・事務など多職種で構成され、対等の立場でお互いの意見を尊重し、個々の患者さんの状況に合わせた質の高い医療を提供します。当院のチーム医療は全部で10チームになります。第2回の今回は「認知症ケアチーム」を紹介します。



認知症ケアチーム

【認知症とは】

最近では、認知症のことをテレビで見ない日はないくらい、世の中の認知症に対する関心は高まっています。何しろ、団塊の世代が全員七十五歳以上となる二〇二五年には、認知症の方は七百万人を越えると推計されており、これは五人に一人が認知症であるとの計算になります。認知症の原因の最たるものは、加齢です。認知症の問題は、私たちの誰もが、いずれ自分にも訪れることとして向き合っていくかなければならない現実です。また、認知症と診断されても、急に何もかも分からなくなるわけではありません。認知機能の低下と上手に付き合ひながら、可能な限り住み慣れた心地よい環境の中で、その人らしく穏やかに暮らしていけるような社会が求められています。

【構成人員】

医師 二名
(認知症サポート医 脳神経外科医)
管理栄養士 一名
看護師 三名
(認知症看護認定看護師二名)
作業療法士 一名
薬剤師 一名
言語聴覚士 一名
社会福祉士 一名
事務 二名

【活動内容】

入院時のスクリーニングで、いちじるしいもの忘れなど、認知機能にリスクがあると考えられる方のうち、日常生活自立度評価の結果、対象となる患者さまを選定します。対象となった患者さまには、不定期に認知症看護認定看護師が訪問し、患者さまやご家族からお話をうかがったり、病棟スタッフと情報を共有したりします。お一人お一人の生活歴やお身体状況から、個別的な援助を行なうことが目的です。また、毎週木曜日には、チームメンバーでの回診とカンファレンスを行なっています。長い人生を過ごしてこられたすえに、認知症となった方々は、当然ながらそれぞれたくさんの歴史や経験をもっておられます。言葉を失いなくなつて一年近くが経過した九十歳代の認知症のA氏は、戦後の混乱期を力強く生き抜いた、江戸っ子でした。何の反応もできないと思われていましたが、「りんごのうた」のサビの部分に合わせて「・・・りんごー」と、口を動かすことが出来たのです。認知症ケアでは、諦めたらおしまいです。また、個性性ということめには何事もありません。チームメンバーそれぞれの専門性を活かし、全人的に関わることでこそ、活きたケアになると考えます。

認知症ケアチームでは、認知症の方が安心して入院生活を送ることができ



病棟でのカンファレンスの様子



病棟ラウンドの様子

き、不安なく退院を迎えられるよう、援助します。

当院では^{*1}臨床研修の必修化に伴い、現在6名の研修医を受入れています。研修期間中は、経験豊富な各診療科の指導医により日夜実践的な研修を行っています。今回は6名の研修医のプロフィールを紹介します。

質問内容

- ① 医師になろうと思ったきっかけは？
- ② 仕事においてこだわりはありますか？
- ③ 実際に那須赤十字病院で働いてみて印象はどう変わりましたか？
- ④ 大田原市の印象は？
- ⑤ 毎日忙しいと思いますが、休日はどう過ごされていますか？
- ⑥ 最後に地域住民、患者さんへ一言お願いします。

宍戸 宏行

出身 身 栃木県さくら市
出身大学 獨協医科大学

- ① 人のためになる仕事をしたいと思っており、病気に苦しむ方々のお手伝いをしたいと感じていたので医師を志しました。

- ② 患者さんに対してはもちろん、他の医療従事者に対しても誠実でありたいと思っています。
- ③ みなさん、楽しそうに仕事をされているのが印象的でした。私も楽しく仕事をさせていたただいております。
- ④ 田舎過ぎず、都会過ぎず、とてもいい街だと思っています。
- ⑤ 睡眠時間が多くなります(笑)
- ⑥ 研修医という立場ではありませんが、多くのことを学び、早く一人前の医師になりたいと思っています。那須赤十字病院をこれからもよろしく願っています。

宮崎 郁

出身 身 茨城県常総市
出身大学 獨協医科大学

- ① 幼少期に喘息の治療をして頂いた経験から医師を目指しました。
- ② 一日三回は患者さんの容態を確認します。
- ③ 予想以上に幅広い症例を経験できています。
- ④ 自然に囲まれた豊かな場所です。
- ⑤ ランニングや音楽鑑賞をしています。
- ⑥ 最善を尽くします。

坂本 恭子

出身 身 岩手県盛岡市
出身大学 慶応義塾大学

- ① 父が医師で父と父の周りのお医者さんが好きだったから。人が生きる仕組みに興味があったから。
- ② 命に対する考え方。
- ③ あまり変わっていません。
- ④ 自分の理想の土地。
- ⑤ マイペースにのんびり。
- ⑥ 求められる医師になりたいです。

池田 織人

出身 身 東京都目黒区
出身大学 慶応義塾大学

- ① 医師であった父の姿を見て。
- ② 患者さんに優しく。
- ③ 皆優しく、働きやすい。
- ④ 空気が良く温泉がある。
- ⑤ 美味しいものの食べに行ったり、ショッピングしたり温泉に行ったり。
- ⑥ 那須日赤でお待ちしております。いつでもお越し下さい。

大坪 勇人

出身 身 栃木県宇都宮市
出身大学 新潟大学

- ① 世の中の病気で困っている方に少しでも役に立てればと考えているからです。

- ② はい。多くのことを吸収したいと考えています。
- ③ やはり後期高齢者の方が多く受診している印象です。
- ④ 外食チェーン店が深夜まで営業していたり、予想よりは住みよい場所です。
- ⑤ 睡眠を十分に取っています。また趣味に時間を費やしています。
- ⑥ 仕事として初めての医療現場ですが、最大限努力し成長していきたいと思っています。宜しく御願います。

玉井 順子

出身 身 東京都板橋区
出身大学 日本医科大学

- ① 病気を治して患者を笑顔にしている医師の姿を見て、憧れを抱いたこと。
- ② 患者さんや職場の方とのコミュニケーションを大切に。
- ③ 皆さまが優しく、温かく、予想以上に働きやすい。
- ④ 自然豊かであるが、生活の便も良く暮らしやすい。
- ⑤ DVD鑑賞。月に一回は実家へ帰る。



穴戸宏行研修医



宮崎 郁研修医

二年目研修医

⑥ 地域住民の皆さまの医療に貢献できるよう全力を尽くして参りますので、宜しくお願い致します。



一年目研修医

坂本 恭子研修医
大坪 勇人研修医
玉井 順子研修医
池田 織人研修医

※1 臨床研修 法に基づく臨床研修（医師法第16条の2）診療に従事しようとする医師は、2年以上、医学部を置く大学に付属する病院又は厚生労働大臣の指定する病院において、臨床研修を受けなければならない。

なお当院は、臨床研修指定病院になっている。

第五十六回 栃木県総合医学会にて 優秀賞を受賞

去る十一月二十日 第五十六回 栃木県総合医学会（とちぎ健康の森）において、研修医部門に十一演題の発表（自治医科大学、獨協医科大学、済生会病院等の県内臨床研修病院から）がありました。

当院初期研修医二年目の穴戸宏行先生が、呼吸器内科亀井亮平先生の指導の元、「入院後、診断を修正し救命し得たレジオネラ肺炎」を発表し、優秀賞（二位）を受賞しました。

これは、第六二二回日本内科学



穴戸研修医（左）と指導した亀井医師（右）

会関東地方会（二〇一六年三月十二日 穴戸宏行先生・指導教官小林洋行先生、第六二六回日本内科学会関東地方会（二〇一六年九月十日 玉井順子先生・指導教官渡部伊織先生）に続く快挙です。

「入院後、診断を修正し救命し得たレジオネラ肺炎」

優秀賞 穴戸宏行（研修医二年目）

当院では、新しい専門制度に対応できるように、これまで以上に臨床研修医が学会などに積極的に参加できる環境を整え、サポートしていきたいと考えております。

DMAT活動報告

社会係長 青木 哲也

平成28年度緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練に参加しました。

平成 28 年 10 月 17 日 (月) ～平成 28 年 10 月 18 日 (火) 2 日間

今回の「※¹ 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練」は、平成 28 年 10 月 17 日 (月) 8 時 30 分頃、栃木県南部を震源とする震度 5 強の直下型地震 (前震) 及び那須岳の噴火により多くの登山者が負傷、その後 9 時 30 分頃、栃木県小山市を震源とする震度 6 強の直下型地震 (本震) が発生し、県南部の複数の市町で甚大な被害が発生したことを想定し実施されました。

参加団体は当院※² DMAT チームを含む 8 チーム、1 都 9 県の消防隊 (車両 250 台 約 1,000 名) の参加、その他に自衛隊、栃木県警、医療機関等が参加し、訓練実施場所も那須町、小山市で実施されました。

各隊が本番さながらの訓練を実施、他の医療機関と協力し、有事の混乱を最小限に食い止めトリアージ及び救急救助、この様子をご覧いただければ各団体がどれほど心強い言葉は要らないでしょう。

那須岳での活動の様子



那須岳 (大丸温泉駐車場) 負傷者受入



山岳救助隊より負傷者の搬送。負傷者は後を絶たない



当院林医師によるトリアージの様子。転院か?ドクターヘリは?



現地消防本部と連携した患者搬送訓練や衛星電話・※³ EMIS 等の通信訓練

小山市での活動の様子



小山市 (石ノ上河川広場) 負傷者受入



当院DMATスタッフによる現場活動。今は黄色タグだが…急変! すぐに重症エリアへ!



本部・消防・DMATで搬送調整。緊張がはしる。

※¹ 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練

大規模災害や特殊な災害が発生したとき、被災地の消防機関だけでは対処出来ないとき、地域を越えて被災地外から応援に来る消防隊を「緊急消防援助隊」といいます。

関東ブロック合同訓練は大規模災害時における救助隊の技術及び連携活動の向上を目的に実施、全国を 6 ブロックに区分して毎年実施、栃木県で開催される本訓練は「10 年に 1 度の訓練」になります。

※² DMAT チーム

災害急性期に活動できる機動性をもったトレーニングを受けた医療チーム。医師、看護師、業務調整員で構成され、事故などの現場におおむね 48 時間以内に活動することになっています。

※³ EMIS 等の通信訓練

広域災害救急医療情報システム **E**mergency **M**edical **I**nformation **S**ystem

あらゆる災害状況、医療機関情報など多量の情報を一つにまとめて情報発信される。

◆◆◆第2回病院祭「マイタウンまつり2016」を開催しました！◆◆◆

2回目となる病院祭テーマは「来て 見て 知って得するマイタウン・マイホスピタル」

平成28年10月16日（日）、当院は昨年に続き2回目となる病院祭「マイタウンまつり2016」を開催しました。

今回テーマとして、「来て 見て 知って得するマイタウン・マイホスピタル」と銘うって開催しました。

当日は、約900人の地域住民が来場し、多くの方々と触れあうことができました。

様々な体験やイベントを実施

今回は、当日は調剤体験やAED体験、リハビリ体験、血管年齢測定など医療に関することはもちろんのこと、地元中学生の吹奏楽、地元高校生の合唱など盛り沢山のイベントを企画しました。

体験型の今回のイベントとしては、小中学生による「救護班体験」を実施しました。

また、新たに「かかりつけ医推進案内」のブースを設置したところ、那須郡市医師会の協力もあり多くの方の来訪がありました。

来場者のアンケートには「日赤のイメージが変わった。これからも続けて欲しい」「色々な体験ができてとても良かった」等ご感想がありご好評をいただくことができました。

那須赤十字病院は今後も地域密着型の病院として、地域住民のみなさまとの交流を深めるイベントを今後も企画していきたいと思えます。

大田原女子高による合唱



レパートリーも豊富で、沢山の人が美しい歌声に酔いしれました。

津軽三味線の演奏



生演奏の三味線はとても迫力のあるステージに

小中学生の救護体験 包帯法を体験中



救護服に着替えてのAED体験や包帯法は貴重な経験になりました。

医療機器体験



当院の医療技術の紹介や医療体験を行いました。医療機器を用いた体験は貴重な体験です。

救急法・幼児安全法・健康生活支援



沢山の方が真剣に講習を受講されていました。

那須中学校の吹奏楽は超満員



素晴らしい演奏力とパフォーマンスで最高のステージに

ハートラちゃんも登場



病院祭当日は見事な快晴



模擬店也大盛況



●●●面会時間変更のお知らせ●●●

平成 28 年 12 月 1 日(木)より患者さんの防犯予防及び安静と療養、治療の妨げにならないように面会時間、面会方法(システム)が変更になっています。

変更前 平日 13:00 から 19:00 休日 10:00 から 19:00
変更後 全日 15:00 から 19:00

皆様のご理解とご協力をお願いします。

がんのつどい

平成29年1月7日(土) 10:00～11:00
那須赤十字病院会議室 1.2
【フリートーク】

平成29年2月4日(土) 10:00～11:00
那須赤十字病院会議室 1.2
【リハビリテーション】
アドバイザー：理学療法士 呉 和 英
：作業療法士 熊 倉 万実子

平成29年3月4日(土) 10:00～11:00
那須赤十字病院会議室 1.2
【フリートーク】

今回の表紙

昨年開催された病院祭で行われた小中学生による救護服に着替えての救護体験や包帯法は貴重な経験になりました。



編集後記

明けましておめでとうございます。

本誌は、病院の取り組みや医療内容などの情報発信を目的とした広報誌です。

地域の皆様が笑顔になれるような、心ふれあう内容と、さらに親しみやすい広報誌の取り組みを今後も行っていききたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

社会係長 青木 哲也

第5回ちくりんネットワーク講演会

日 時 平成29年2月4日(土) 14:00～16:30
場 所 那須赤十字病院2階マイタウンホール
対 象 一般市民・医療福祉関係者
お車で来院される方は、駐車券を持って会場へいらしてください。

基調講演「緩和ケアについて」(仮題)

講 師 那須赤十字病院 緩和ケア部長
石川 和由 先生

パネルディスカッション

パネリスト 小林内外科医院院長 小林 伸久 先生
那須赤十字訪問看護ステーション所長
大場 利子
がん患者と家族の会ピアサポート那須会長
並木 邦憲 先生

共 催

とちぎ県北・県央地域連携実務者会ちくりんネットワーク
那須赤十字病院

本誌へのご意見・ご感想をお聞かせください!

抽選で3名様に「CroKuma 救護服」「CroKuma ナース」「赤十字マグカップ」をプレゼントいたします。

以下の項目を明記のうえ、郵送・FAX・メールにてご応募ください。

●応募先

郵送/ 〒324-8686 大田原市中田原1081-4
那須赤十字病院 総務課 プラタなす第16号 プレゼント係
FAX/ 0287-23-3004
宛先「総務課 プラタなす第16号 プレゼント係」
メール/nrchp@nasu.jrc.or.jp
件名「プラタなす第16号 プレゼント係」

●応募締切り 2017年1月31日(火)

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

那須赤十字病院

基本理念

マイタウン・マイホスピタル
～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

基本方針

1. 赤十字基本原則に則り、地域のための医療を提供します。
2. 患者さまの立場を尊重し、患者さまに信頼される病院をつくります。
3. 日々の研鑽を惜まず、医療の質の向上に努めます。
4. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につくします。

プラタなす 那須赤十字病院広報誌プラタなす No.16

発行日 2017年1月

発行者 那須赤十字病院 〒324-8686 大田原市中田原1081番地4

TEL 0287-23-1122 FAX 0287-23-3004

URL <http://www.nasu.jrc.or.jp> 印刷 株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷